

公立大学法人大阪府立大学 平成26事業年度の業務実績に関する評価結果の概要

大阪府公立大学法人大阪府立大学評価委員会
(事務局 大阪府財務部行政改革課)

公立大学法人大阪府立大学の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府公立大学法人大阪府立大学評価委員会による評価を受けることとなっており、平成27年9月2日に開催された平成27年度第3回評価委員会において、平成26事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

○大項目について、5項目のうち4項目がA評価（計画どおり進捗）、1項目がB評価（おおむね計画どおり）であり、教育研究等の質の向上についても計画どおり進捗していることを確認した。

○委員会コメント

地方公共団体が設置する公立大学においては、高度な教育・研究活動のみならず、地域に貢献する事業の推進や人材の育成が求められるが、諸機関との連携により多くの成果が顕在化していることは評価に値する。今後、さらに教育・研究活動の充実とそれを支える財務の健全化とのバランスを図りつつ、公立大学としてのさらなる使命を果たすことを期待する。

大項目	評価					主な判断理由・特記事項
教育研究等の質の向上	「計画どおり」進捗していることを確認					文科省事業「大学教育再生加速プログラム」の採択を受け、アクティブラーニングや学修成果の可視化の取組みを積極的に推進したこと、また、「博士課程教育リーディングプログラム」において、第1期生を迎えてプログラムを順調に実施したことなどに進捗を認め、計画どおり教育の質の向上のための取組みを進めていることを確認した。
	「地域貢献」及び「国際化」の項目はA評価に該当					地域貢献については、中小企業向けの補助金獲得支援が高い採択率を上げていることや共同・受託研究数の実績、公開講座数について年度計画を上回って実施したことは評価できる。諸機関との連携の強化については、企業との協力体制によりBNCI研究センターを本格実施させ先端的な研究分野の推進を図っていることや、大阪市立大学と共同での「大学COC事業」により「地域再生」副専攻を設置、地域実践演習を開講（試行）したことは評価できる。国際化について、国際交流会館を開設したことに加え、受入留学生数の年度目標を達成したことについて評価できる。また、工業高等専門学校との地域貢献について、府立産業技術総合研究所や関連企業と連携し、JST委託事業SIPプロジェクトの採択をうけ、計画を上回る実施がされたことは評価できる。
業務運営の改善及び効率化	S	A	B	C	D	教員業績評価制度について、一定の処遇反映を実施するなどの取組みが進められたことは評価できる。
財務内容の改善	S	A	B	C	D	大学教員数については、今年度は数値目標を達成していないものの、教育・研究活動に影響を及ぼさない範囲で着実な削減は行われており、計画の実施は一定進められていると認められる。引き続き教員の適正配置に努めることが望まれる。基金の効率的な活用等に加えて、大学の有するシーズや技術支援等のノウハウを活かしつつ、収益性向上のマインドをもって各種事業の推進にあたるなど、財務基盤の充実に努められたい。
自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供	S	A	B	C	D	大学の基本データを継続的に収集、蓄積してまとめた「データでみる公立大学法人大阪府立大学」の学外公開、ウェブやソーシャルメディアを活用した広報活動を実施したことを評価できる。
その他の業務運営	S	A	B	C	D	全体として計画どおりの進捗が認められる。

※評価区分 S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている D：重大な改善事項あり
 ※「教育研究等の質の向上」（「地域貢献等に関する項目」及び「国際化に関する項目」を除く）については、教育研究の特性への配慮から、専門的な観点からの評価は行わず、進捗状況の確認にとどめた。